

令和3年度子育てしやすいまちづくりについてのアンケート結果

1 目的

草津市の「子育てしやすいまち」の成果や課題を検証するため、0歳から中学生までのお子さんをお持ちの方にアンケート調査を実施する。

■調査概要

【配付対象】	児童手当受給全世帯（中学生以下）
【配布世帯数】	11,385件
【回収世帯数】	6,389件（回収率 56.1%）

2 アンケート結果

■子育てしやすいまちと思う市民の割合【問2】

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	思わない	無回答	総計
未就学児	967	1,912	212	60	19	3,170
	90.8%		8.6%		0.6%	
小学生	514	1,458	227	74	10	2,283
	86.4%		13.2%		0.4%	
中学生	208	599	81	24	6	918
	87.9%		11.4%		0.7%	
無回答	1	12	2	1	2	18
	72.2%		16.7%		11.1%	
総計	1,690	3,981	522	159	37	6,389
	88.7%		10.7%		0.6%	

（参考）

第二期草津市子ども・子育て支援事業計画

第6章 重点的な取組（子ども・子育て支援法 法定必須記載事項以外）

4 「草津っ子」育み事業の目標値

実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
満足度	82.1%	82.9%	84.5%	85.7%	87.5%
計画値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
満足度	86.2%	86.8%	87.4%	88.0%	

令和3年度子育てしやすいまちづくりについてのアンケート結果

1 目的

草津市の「子育てしやすいまち」の成果や課題を検証するため、0歳から中学生までのお子さんをお持ちの方にアンケート調査を実施する。

■調査概要

【配付対象】	児童手当受給全世帯（中学生以下）
【配布世帯数】	11,385件
【回収世帯数】	6,389件（回収率 56.1%）

2 アンケート結果

■子育てしやすいまちと思う市民の割合【問2】

子育てしやすいまち	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	思わない	無回答	総計
未就学	638	1,360	155	43	12	2,208
	90.5%		9.0%		0.5%	100.0%
小学生	501	1,430	225	73	10	2,239
	86.2%		13.3%		0.5%	100.0%
中学生	206	588	78	23	6	901
	88.1%		11.2%		0.7%	100.0%
その他	334	571	58	18	7	988
	91.6%		7.7%		0.7%	100.0%
無回答	11	32	6	2	2	53
	81.1%		15.1%		3.8%	100.0%
総計	1,690	3,981	522	159	37	6,389
	88.7%		10.7%		0.6%	100.0%

「その他 988件」「無回答 53件」のうち年齢のわかるものをそれぞれの区分に振り分けました。（本会議資料4-2）

(参考)

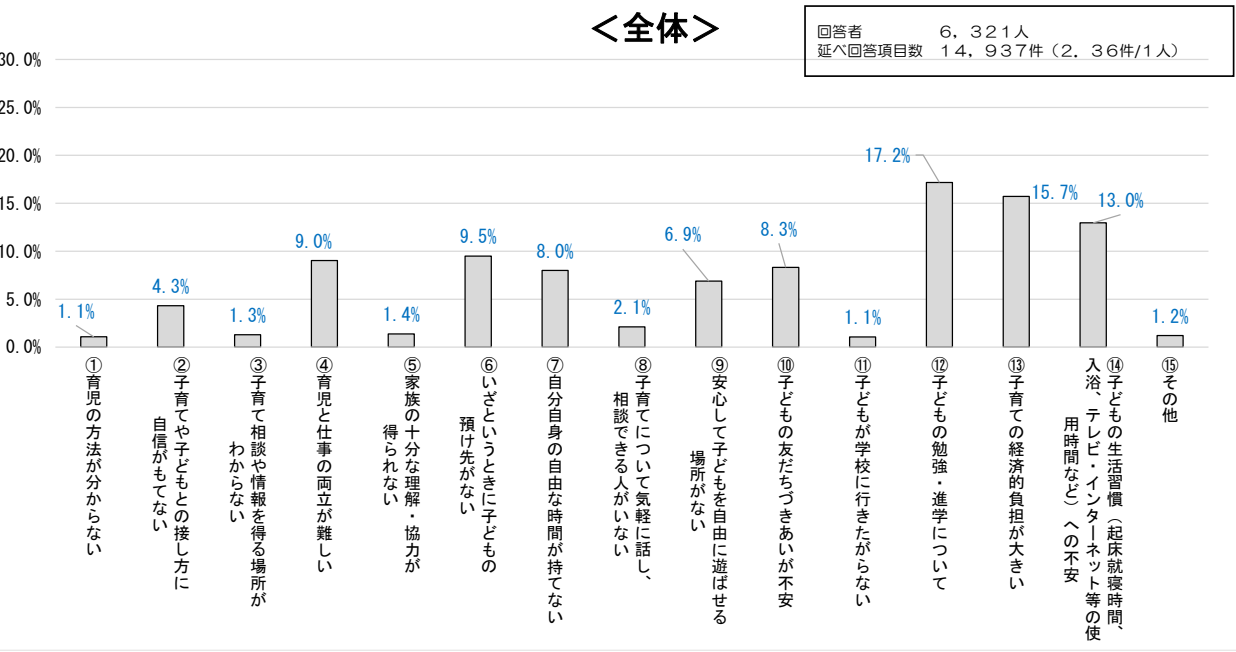
第二期草津市子ども・子育て支援事業計画

第6章 重点的な取組（子ども・子育て支援法 法定必須記載事項以外）

4 「草津っ子」育み事業の目標値

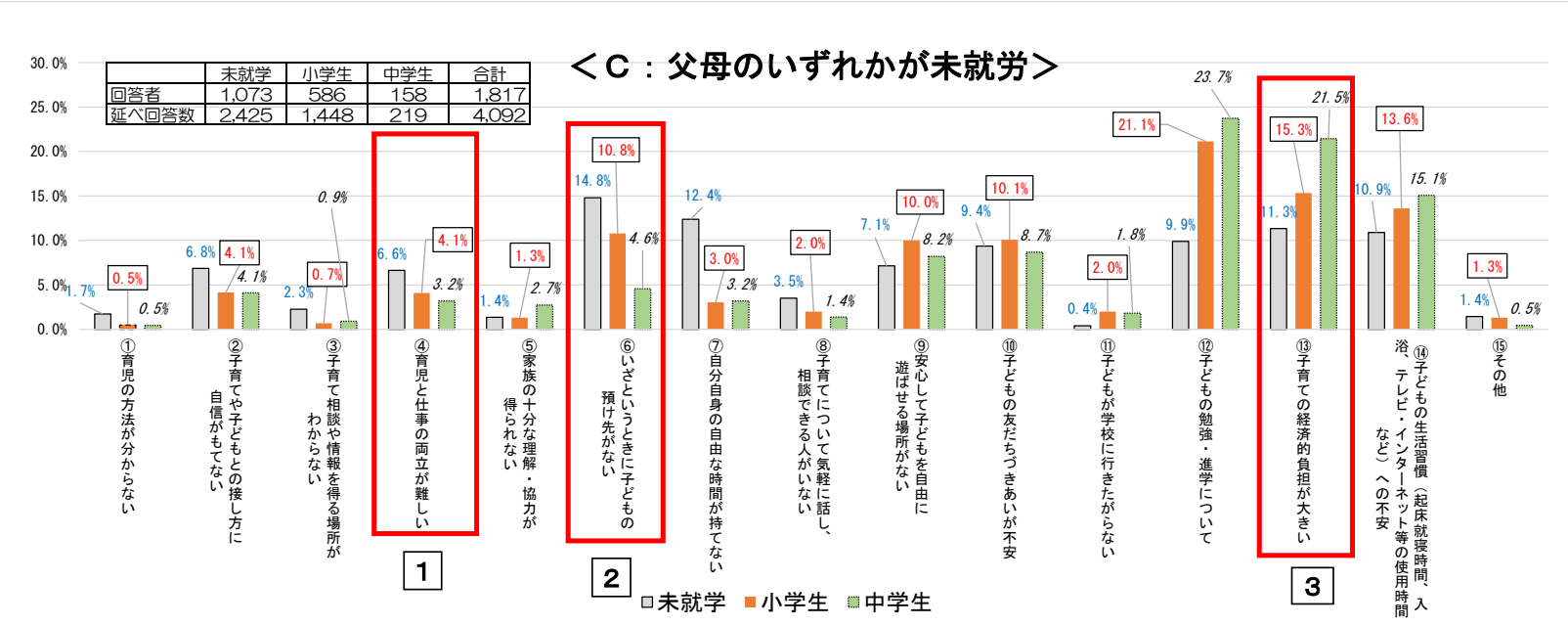
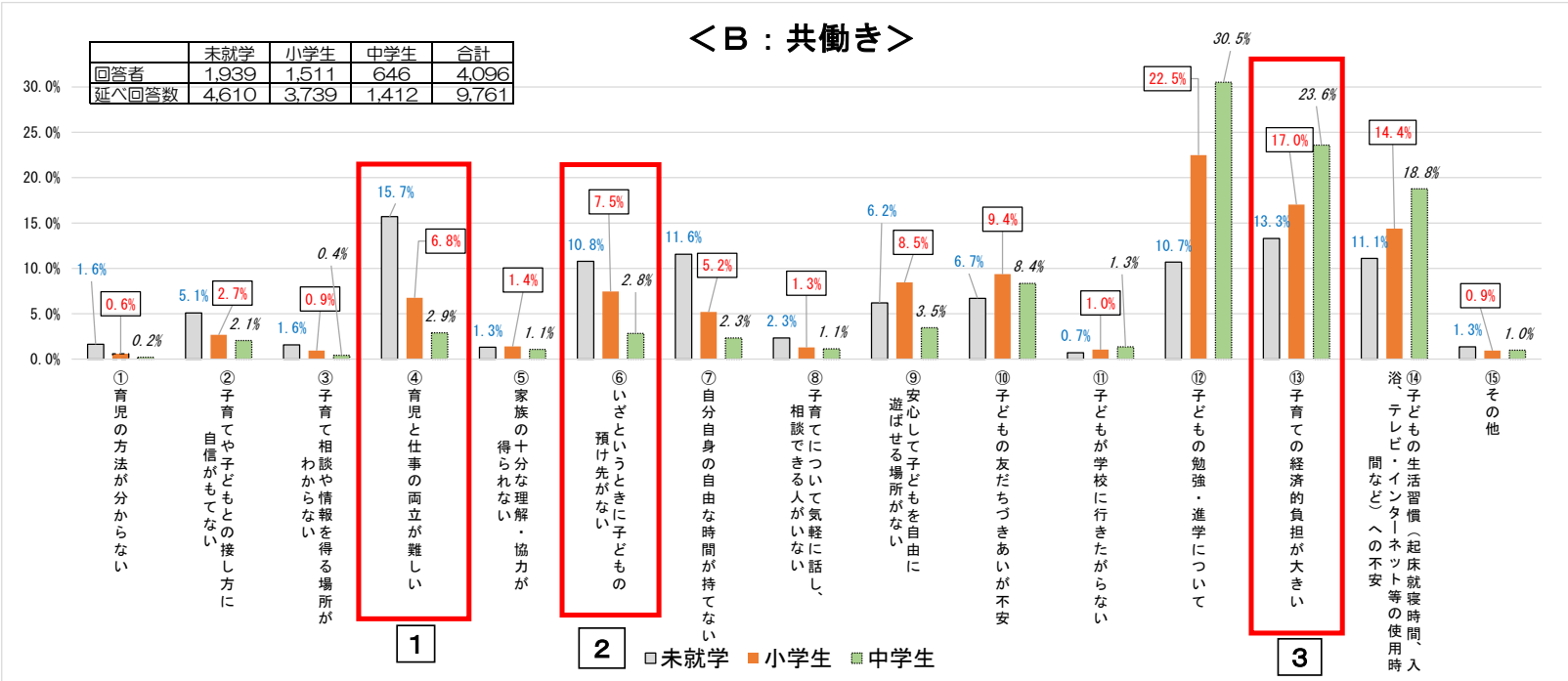
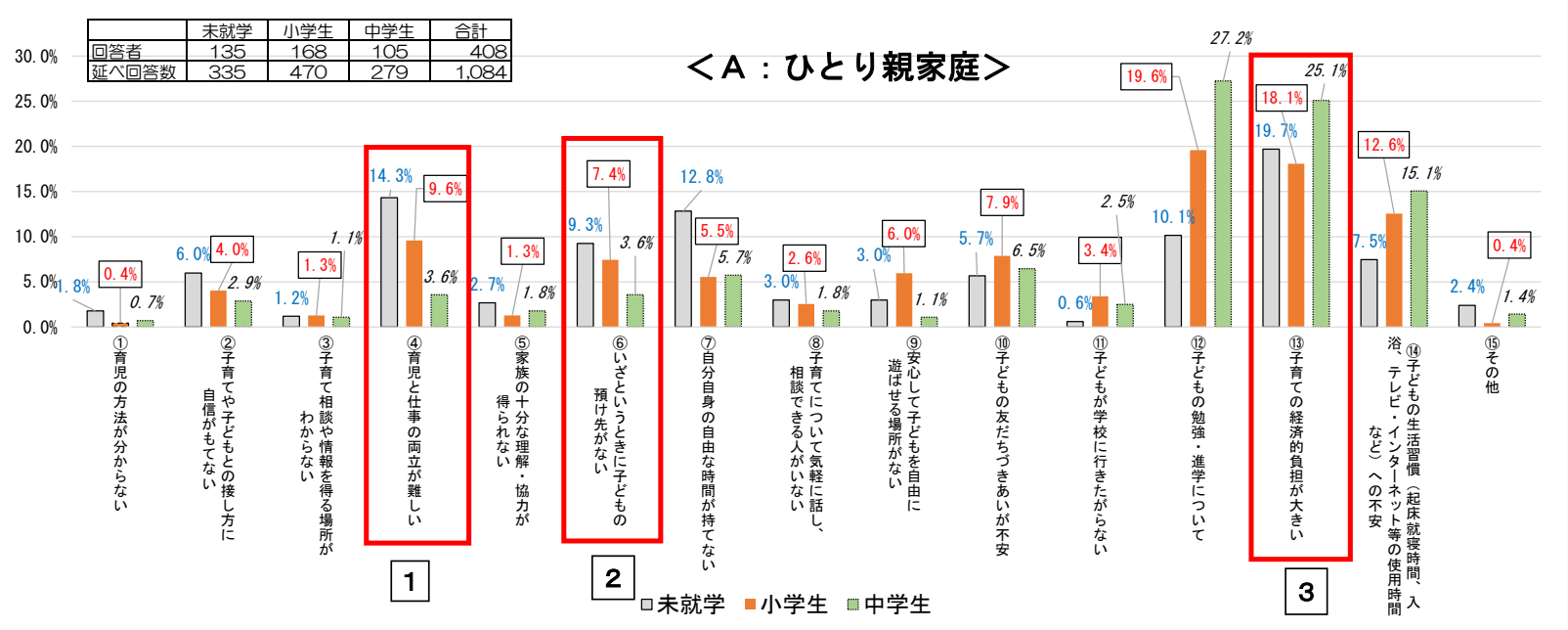
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
満足度	82.1%	82.9%	84.5%	85.7%	87.5%
計画値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
満足度	86.2%	86.8%	87.4%	88.0%	

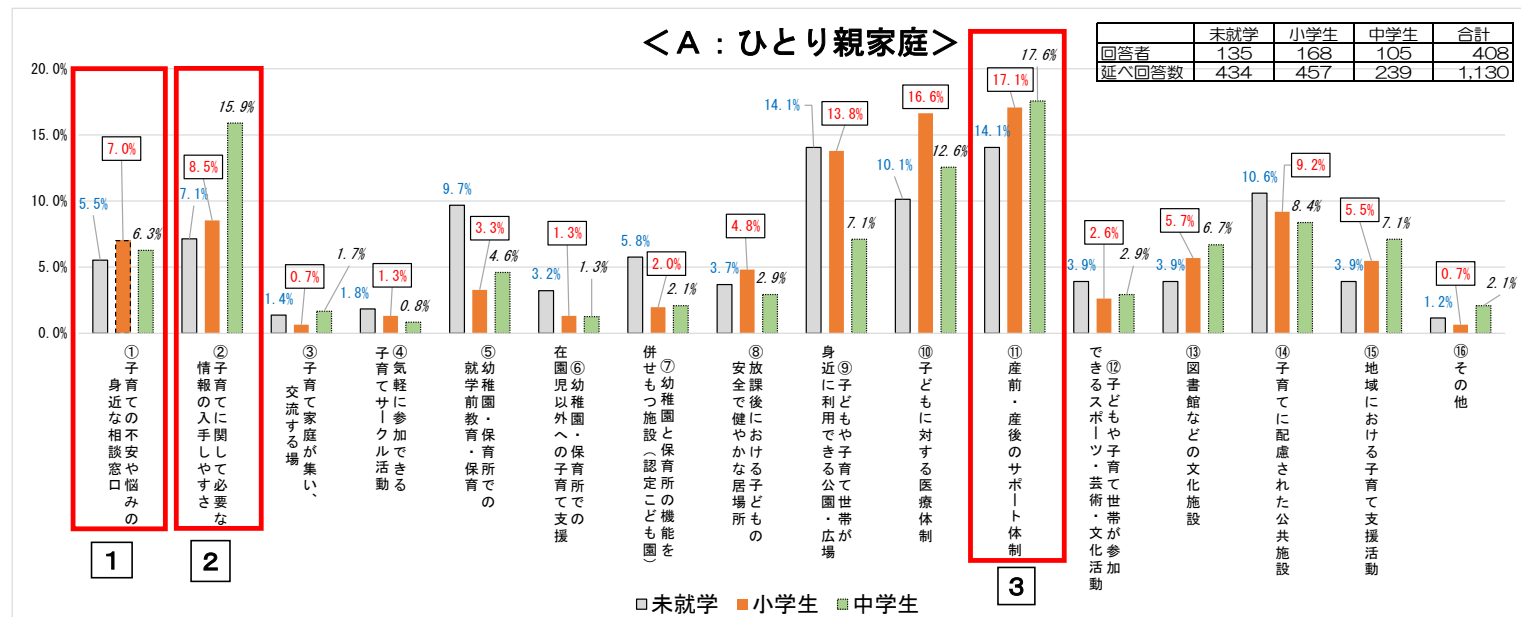
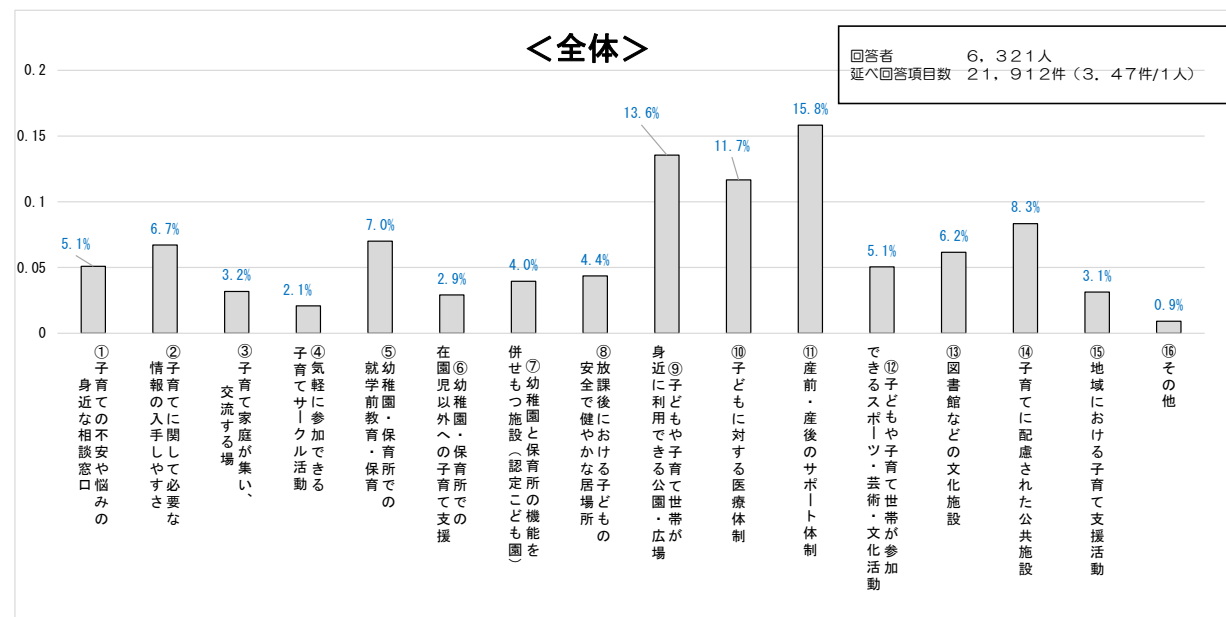
(2) 子育てに関して、日頃悩んだり、気になることはなんですか。(複数回答可) 【問4】



- 1
- ④育児と仕事の両立が難しい
就学前のA、Bの家庭で特に両立の難しさを感じておられる。中学生では、AからCの家庭であまり差は生じていない。
- 2
- ⑥いざというときに子どもの預け先がない
AとBの家庭に比べCの家庭の比率が高い傾向にある。これは、AとBの家庭では、保育所や児童育成クラブ等が預け先となっているためだと考えられる。
- 3
- ⑬子育ての経済的負担が大きい
小学生、中学生ともに、AからCの家庭で大きな差はないが、就学前ではBとCの家庭に比べ、Aの家庭が高くなっている。

資料4-2





1 ①子育ての不安や悩みの身近な相談窓口
B、Cの家庭では、未就学、小学生に比べ中学生で高くなっている。子どもが思春期を迎え、悩み等が増えているものと思われる。

2 ②子育てに関して必要な情報の入手しやすさ
B、Cの家庭では、未就学、小学生、中学生は同じだが、Aの家庭では、中学生が高くなっている。

3 ⑪産前・産後のサポート体制
AからCの家庭すべてにおいて、小学生、中学生に比べ就学前が低くなっている。これは、未就学へのサポート体制が充実してきたためと考えられる。

